

九州大学附属図書館におけるリポジトリ 登録の実務：著作権調査を中心に

図書館総合展「OA義務化、悩んで当然。だからシェアするリポジトリの試行錯誤」

2025年10月23日(水)

九州大学附属図書館eリソース課リポジトリ係

平野 かおる

hirano.kaoru.659@m.kyushu-u.ac.jp

自己紹介： 平野 かおる (Kaoru Hirano)

- 2017.04 九州大学附属図書館 入職
- 2017.04-2019.03 理系図書館 理系資料サービス係(窓口業務)
- 2019.04-2023.03 医学図書館 受入目録係(図書購入・受入)
- 2023.04-現在 eリソース課リポジトリ係

1. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の場合
2. 実際の登録の流れ

1. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の場合
2. 実際の登録の流れ

QIRトップ画面

- 図書館トップページ
＞ QUICK LINK
＞ リポジトリ(QIR)
- またはPICK
UPより↓



Click!

A screenshot of the Kyushu University Library's QIR homepage. The header includes the library's name in Japanese and English, and navigation links like HOME, 探す・調べる, and 図書館を使う. Below the header is a banner image showing several books, including 'Unzen Volcano the 1990-1992 Eruption' and '石炭研究資料 No.34'. The main content area is divided into two columns. The left column lists various document types with their counts, such as '紀要論文(30421)', '博士論文(25653)', and '学術雑誌論文(5983)'. The right column features a search bar with '簡易検索' and '詳細検索' buttons, and a section titled '九州大学学術情報リポジトリ(QIR)' which explains the platform and provides links to related resources like '九州大学オープンアクセス方針' and 'Q-RADeRSからの研究成果の登録手順'.

https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_browse/papers/

トップページ

コンテンツページ

本文ファイル

九州大学附属図書館
Kyushu University Library

HOME 探す・調べる 図書館を使う

九大コレクション 図書・雑誌 リポジトリ(QIR) 学位论文 貴重資料 庶务系文書 紙質図書 歴史的画像 貴重材料DB 所蔵コレクション

検索結果一覧に戻る [1/8] 次の詳細画面へ

<学術雑誌論文>
「買える」図書館定番グッズを作る：九州大学附属図書館における商品開発記録

作成者 作成者名：梶原 瑠衣
KAJIWARA, Rui
カジワラ, ルイ

所属機関：九州大学附属図書館図書館企画課企画係
Planning and Public Relations Section, Library Planning Division, Kyushu University Library

作成者名：山根 泰志
YAMANE, Yasushi
ヤマネ, ヤスシ

所属機関：九州大学附属図書館eリソース課
Electronic Resources Management Division, Kyushu University Library

本文言語 日本語

出版者 国公立大学図書館協力委員会
Japanese Coordinating Committee for University Libraries

発行日 2024-03-31

収録题名 大学図書館研究
Journal of College and University Libraries

巻 125

開始ページ 2166

出版タイプ Version of Record

アクセス権 open access

権利関係 Creative Commons Attribution-NonCommercial International

関連DOI 以下と同一：https://doi.org/10.20722/jcul.2166

関連URI

関連HDL

概要 九州大学附属図書館は、貴重書等の画像を活用した図書館グッズを、九州大学生活協同組合と共同制作した。当該商品は、九州大学のオリジナルグッズのひとつとして、2021年に販売が開始され、他局的にでも購入できる状態となっている。また、寄附事業「九州大学デジタル資料整備事業」の派生品としても活用している。従来、九州大学附属図書館では無償の図書館グッズを制作したことはあったが、販売用グッズ制作は初めての試み...

本文ファイル

| ファイル | ファイルタイプ | サイズ | 閲覧回数 | 説明 |
|----------|---------|---------|------|----|
| 125_2166 | PDF | 2.80 MB | 169 | |

この資料を見た人はこんな資料も見えています

https://hdl.handle.net/2324/7169360

「買える」図書館定番グッズを作る
—九州大学附属図書館における商品開発記録—
Producing "Buyable" Standard Library Goods:
Record of Product Development in Kyushu University Library

梶原 瑠衣¹, 山根 泰志²
Rui KAJIWARA¹, Yasushi YAMANE²

抄録：九州大学附属図書館は、貴重書等の画像を活用した図書館グッズを、九州大学生活協同組合と共同制作した。当該商品は、九州大学のオリジナルグッズのひとつとして、2021年に販売が開始され、他局的にでも購入できる状態となっている。また、寄附事業「九州大学デジタル資料整備事業」の派生品としても活用している。従来、九州大学附属図書館では無償の図書館グッズを制作したことはあったが、販売用グッズ制作は初めての試みとなった。1年以上かけて制作した図書館グッズについて、完成までの道のりを紹介する。
キーワード：九州大学附属図書館、貴重書画像、図書館グッズ、寄附事業、九州大学基金、九州大学デジタル資料整備事業

1. はじめに

九州大学附属図書館（以下、「当館」という）が蒐集してきたコレクションには、世界的に珍しい貴重書や、九州・福岡ならではのユニークな資料が多数含まれている。そのような資料の画像を活用した附属図書館オリジナルグッズ（以下、「図書館グッズ」という）が、2021年、九州大学生活協同組合（以下、「九大生協」という）において販売開始された。本稿では、当館において初の試みとなった販売用グッズ制作について、経緯と過程を紹介するとともに、取り組みの意義を考察する。

2. 制作の経緯

2.1 グッズ概要

図書館グッズ制作の経緯を振り返るに先立ち、当館で制作してきた無償のグッズについて触れておきたい。
当館では従来、必要に応じてグッズを制作してきた。例えば、展示会出品資料の検査書、学習相談デスク広報用のタリフォルダ、新図書館ランドオープン記念のロゴ入りグッズ（USBメモリ・不織布バッグ・タリフォルダ）などが挙げられる。これらはどれも、特定の担当課・係やワーキンググループが中心となって作成した。一時的な無償配布用のものだった。そのため、いつでもどこでも入手できる、当館全体を代表するようなグッズは、長い

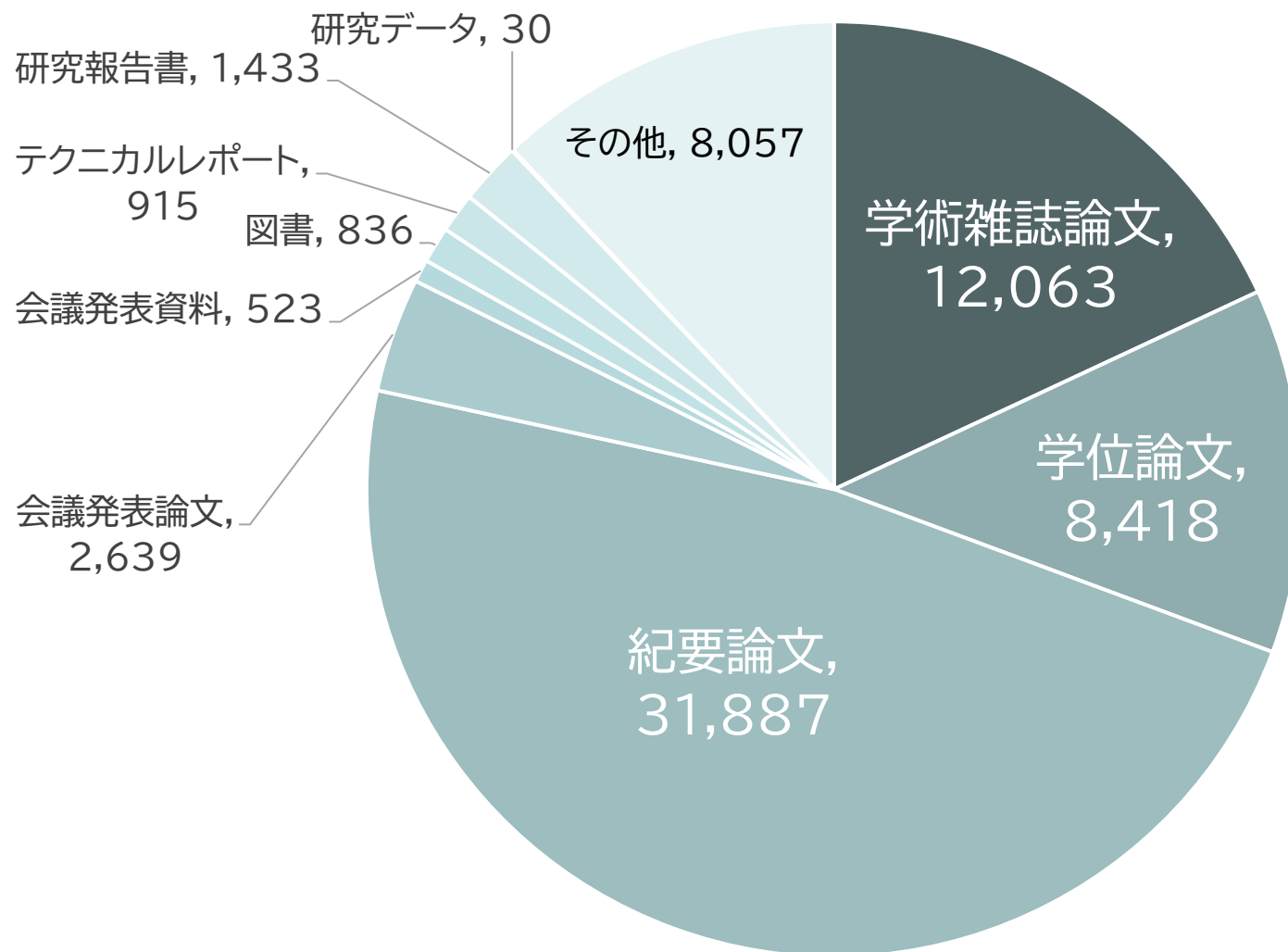
間存在していなかった。

2.2 広報戦略の見直し

図書館グッズ制作のきっかけとなったのは、当館における広報戦略の見直しだった。2019年1月から3月にかけて、広報誌見直しに端を発して、広報戦略全体を見直すための「広報戦略検討チーム」が設置された¹⁾。このチームの提案を受け、同年4月、当館の図書館広報室にて「広報戦略チーム」が活動を開始した。
図書館広報室とは、当館における広報活動を全般に担うことに取り組む場として設置されているものである。ここでは、室長の下、毎年10名程度の各館課等の職員が常員として充てられ活動している。図書館広報室には、広報に関する特定の課題に対応するため、必要に応じてチームを置くことができる。「広報戦略チーム」は、この枠組みの中で、広報活動計画について集中的に議論を行うことを目的として設置された。
広報戦略チームにおいて半年ほど議論を重ねた結果、2019年12月頃には、百年以上にわたり蒐集されてきた各学問分野の蔵書こそが当館のブランドの大きな特徴であるという位置づけがなされた。そして、貴重書等の画像を利用して、当館のブランディングとレピュテーション向上に取り組むことが館内に共有された。

梶原 瑠衣, 山根 泰志, 「買える」図書館定番グッズを作る, 大学図書館研究, 2024, 125 巻,
公開日 2024/03/05, Online ISSN 2186-103X, Print ISSN 0386-0507,
<https://doi.org/10.20722/jcul.2166>

QIRのコンテンツ数・コンテンツタイプ内訳



公開コンテンツ数合計
66,801件
(2025年9月30日時点)

九州大学のオープンアクセス方針

九州大学オープンアクセス方針

平成 28 年 1 月 19 日 教育研究評議会決定

(趣旨)

- 1 九州大学（以下「本学」という。）は、九州大学学術憲章に基づき、開かれた大学としてその研究成果を学外に開示し、人類と社会に貢献する学術研究の国際的拠点となることを目指す。この理念のもとに、九州大学オープンアクセス方針を定める。

(定義)

- 2 本方針において、次に掲げる用語の定義は、それぞれ次に定めるところによる。

- (1) 公的研究資金とは、競争的研究資金、公募型の研究資金および運営費交付金等をいう。
- (2) 研究成果とは、出版社、学協会、学内部局等が発行した出版物に、学術雑誌論文、会議発表論文、および紀要論文として掲載された学術情報をいう。

(研究成果の公開)

- 3 本学は、本学に在籍する教員（以下「教員」という。）の公的研究資金を用いた研究成果（以下「研究成果」という。）を九州大学学術情報リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）によって公開する。ただし、研究成果の著作権は本学に移転しない。

(適用の例外)

- 4 前項にかかわらず、著作権等のやむを得ない理由により公開が不適切である場合、本学は当該研究成果を非公開とすることができる。

対象は、学術雑誌論文、会議発表論文、紀要論文

図書館から研究者や出版社に論文の公開を依頼する際の根拠、よりどころとなる

※ただし、教員に対する強制力はない

(適用の不遡及)

- 5 本方針施行以前に出版された研究成果や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には、本方針は適用されない。

(研究成果の提供)

- 6 教員は、研究成果について、できるだけすみやかに、リポジトリ登録が許諾される著者最終稿等の適切な版を本学に無償で提供する。なお、本方針の定める研究成果以外の成果物についても自発的に提供する。

(リポジトリの運営)

- 7 リポジトリの運営に関わる事項は、「九州大学学術情報リポジトリ運営指針」に基づき取り扱う。

(検証)

- 8 本学は、本学のオープンアクセスがその趣旨に照らし有効に機能しているか、絶えず検証する。

(その他)

- 9 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定める。

1. 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)の場合

2. 実際の登録の流れ

```
graph LR; A[依頼] --> B[著作権調査]; B --> C[メタデータ入力]; C --> D[公開]; B --> E[ ]; C --> F[ ]
```

依頼 著作権調査 メタデータ入力 公開

メタデータ＝目録情報

(例: タイトル、著者、作成日、掲載誌)

HOME
探す・調べる
図書館を使う

九大コレクション
>
図書・雑誌
リクエスト(LOBB)
学術論文
貴重資料
国文学書
貴重図書
加賀西蔵
水素材料DB
西蔵コレクション

データベース検索結果一覧に戻る

この情報を出する

印刷

メール送信

Mendeley出力

このページのリンク

利用にはこちらのリンクをご利用ください

<https://hdl.handle.net/2324/4256> コピー

QRコード

他の検索サイト

- 世界の文庫
- CNI Research (Articles)
- CNI Books
- CNI Dissertations
- 京大国会図書館サーチ
- Google
- Google Scholar
- Google Books
- カール

利用統計

コンテンツページ

＜紀要論文＞

I. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果

作成者 小野 和人
Ono, Kazuto
メノ, カズト

所属機関名: 九州大学大学院言語文化研究科
Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

本文言語 日本語

出版者 九州大学大学院言語文化研究科
Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

発行日 2000-08-31

収録物名 言語文化論究

巻号 12

開始ページ 15

終了ページ 27

出版タイプ Version of Record

アクセス権 open access

JaLC DOI https://doi.org/10.1501/74256

概要 In one of his SF magazine column essays "Imagination", Asimov er[phasesizes the arrangements: a time machine...

本文ファイル

| ファイル | ファイルタイプ | サイズ |
|-----------------------------|---------|---------|
| ashizyu08.5 | pdf | 1.47 MB |

評価

PISSN 1341-0032

NCID AN10175926

レコードID 4256

言語有無 有

言語別 英語

主題 ディザック・アシモフ

収録誌表紙

言語文化論究

No.12 2000. 8

| 著 者 | 目 次 |
|-------|--|
| 野村 浩将 | ディザック・アシモフの「想像力」―基礎研究における状況言語学と歴史的研究 (10. ミネソタ大の講座「想像力」の「ディザック」(野村, 浩将)) |
| 小野 和人 | 1. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 2. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 3. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 4. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 5. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 6. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 7. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 8. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 9. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 10. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 11. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 12. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 13. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 14. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 15. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 16. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 17. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 18. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 19. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 20. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 21. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 22. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 23. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 24. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 25. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 26. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 27. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 28. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 29. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 30. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 31. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 32. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 33. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 34. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 35. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 36. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 37. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 38. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 39. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 40. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 41. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 42. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 43. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 44. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 45. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 46. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 47. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 48. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 49. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 50. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 51. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 52. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 53. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 54. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 55. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 56. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 57. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 58. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 59. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 60. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 61. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 62. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 63. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | 64. アシモフのSF作品における言語運用の工夫と効果 |
| 野村 浩将 | |

QIRへの登録依頼方法

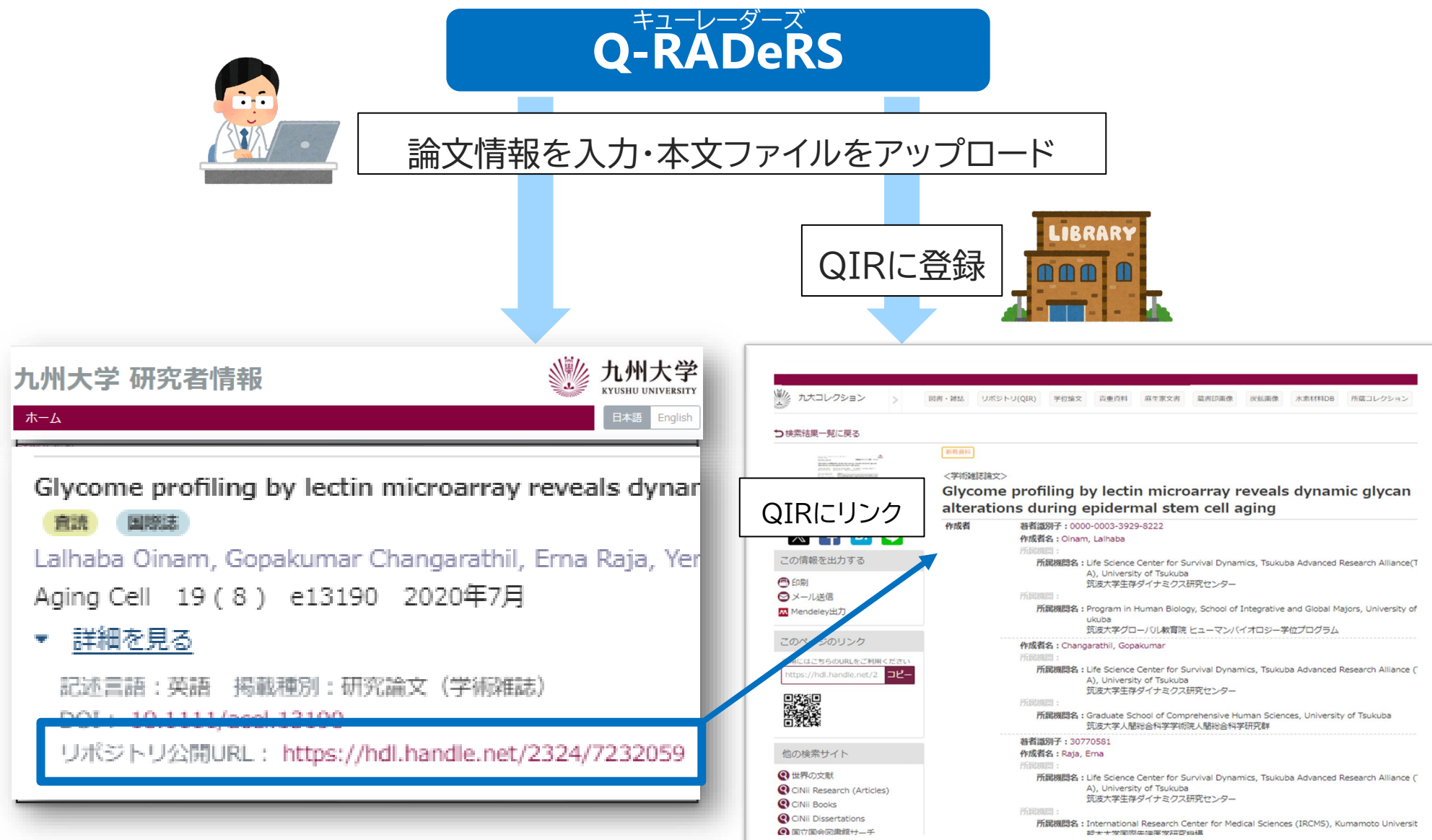
- 1 ^{キューレーダース}
Q-RADeRS
(次ページ参照)

- 2 図書館Webサイトのマイページ
(マイページにログイン→必要事項の入力→本文ファイルのアップロード)
※2025年10月下旬にリニューアル予定、必要事項の入力部分を効率化

- 3 メール依頼
(メールで、研究成果の情報と本文ファイルを送付。研究データはメールのみの受け付け)



九州大学教員活動進捗・報告システム(Q-RADeRS)



この論文をリポジトリで公開したい！
とりあえず手元にあるPDFをアップロードするね。
公開していいかは、わからないんだけど...



OK！
公開できるかどうかは
図書館で調べるね。

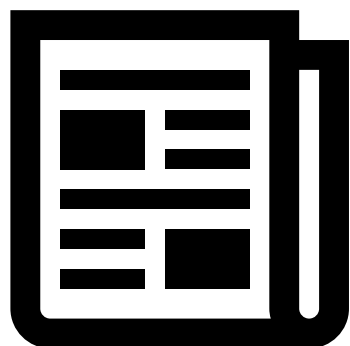


著作権調査開始！

➤ 確認内容1

- 論文はどこで出版されている？
発行元は出版社？ それとも学会？

提供された本文ファイル
から発行元をチェック



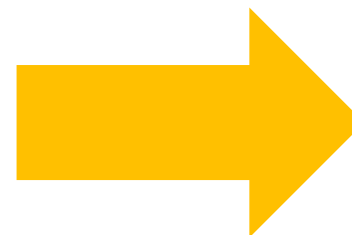
DOI

ジャーナル名

論文タイトル

著者名

など...



同定できた！
この〇〇出版社から
出版されている！



出版社の著作権ポリシーデータベース

海外のジャーナルはOpen Policy Finder

<https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/>

国内版は学協会著作権ポリシー(SCPJ)

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/216>



- データベースに載っていない場合、出版社のWebサイトで直接確認
- データベースに載っていても、念のため出版社のWebサイトを直接確認
- Webサイトに記載がない場合、お問合せフォームやメールで問合せ

ここで悩んだ！ Open Policy Finderの見方(1)



→検索してヒットしたけれど、結局何をどう公開していいのかわからない

Games and Economic Behavior (GEB)

Publisher [Elsevier](#) | ISSN 0899-8256 | eISSN 1090-2473

[← Back to search results](#) [Report an error](#)

Journal Policy

Open Access Compliance

Transitional Agreement Look-up

Journal Details

Record Information

Version:
☒ Show all ☐ Published ☐ Accepted ☐ Submitted

Published

Option with associated OA fees, no embargo & CC BY-NC-ND and 1 other licence

Show

Published

Option with associated OA fees, no embargo & CC BY licence

Show

Published

Option with funder pre-requisites, associated OA fees, no embargo & CC BY licence

Accepted

Option with no embargo & CC BY-NC-ND licence

Show

Accepted

Option with 24 months embargo & CC BY-NC-ND licence

Show

Accepted

Option with funder pre-requisites, 18 months embargo & CC BY-NC-ND licence

Show

Submitted

Option with no embargo

Show

Policy Links

[Sharing and Hosting Policy FAQ](#)

[Open access](#)

[Open Access Agreements](#)

[Open access licenses](#)

[Journal Embargo List for UK Authors](#)

ここで悩んだ！ Open Policy Finderの見方(2)

→論文のバージョンごとに、それぞれ選択肢(オプション)があるみたい？

Accepted = 著者最終稿(査読後)

Games and Economic Behavior (GEB)

Publisher [Elsevier](#) | ISSN 0899-8256 | eISSN 1090-2473

[← Back to search results](#)

[Report an error](#)

Journal Policy

[Open Access Compliance](#)

[Transitional Agreement Look-up](#)

[Journal Details](#)

[Record Information](#)

Version:

☒ Show all ☐ Published ☐ Accepted ☐ Submitted

Published = 出版社版

Published Option with associated OA fees, no embargo & CC BY-NC-ND and 1 other licence

[Show](#)

Published Option with associated OA fees, no embargo & CC BY licence

[Show](#)

Published Option with funder pre-requisites, associated OA fees, no embargo & CC BY licence

Accepted Option with no embargo & CC BY-NC-ND licence

[Show](#)

Accepted Option with 24 months embargo & CC BY-NC-ND licence

[Show](#)

Accepted Option with funder pre-requisites, 18 months embargo & CC BY-NC-ND licence

[Show](#)

Submitted Option with no embargo

[Show](#)

Submitted = プレプリント(査読前)

Policy Links

[Sharing and Hosting Policy FAQ](#)

[Open access](#)

[Open Access Agreements](#)

[Open access licenses](#)

[Journal Embargo List for UK Authors](#)

発行元のポリシーへの
リンク

ここで悩んだ！ Open Policy Finderの見方(3)

→ために「Published」の「Show」を開いてみる


| | |
|--|--|
| <p>① Published Option with associated OA fees, no embargo & CC BY-NC-ND and 1 other licence</p> <p>Hide</p> | <p>①Published: Option with associated OA fees, no embargo & CC BY-NC-ND and 1 other licence →OA料金がかかるオプションで、エンバーゴなし、CC BY-NC-NDライセンス及びもう1つのライセンスが適用される</p> |
| <p>② OA Fee</p> <p>This option has an Open Access fee associated with it</p> | <p>②OA Fee: This option has an Open Access fee associated with it →このオプションにはオープンアクセス料金がかかる(要APC: Article Processing Charge)</p> |
| <p>③ OA Publishing</p> <p>This option includes Open Access publishing</p> | <p>③OA Publishing: This option includes Open Access publishing →このオプションにはオープンアクセス出版が含まれる</p> |
| <p>④ Embargo</p> <p>No embargo</p> | <p>④Embargo: No embargo →エンバーゴなしで公開できる(すぐ公開可)</p> |
| <p>⑤ Licence</p> <p>CC BY-NC-ND 4.0</p> <p>CC BY-NC</p> | <p>⑤Licence: →CC BY-NC-ND 4.0(表示-非営利-改変禁止 4.0) 、CC BY-NC(表示-非営利)</p> |
| <p>⑥ Locations</p> <p>Named Repository (PubMed Central, Research for Development Repository, ESRC Research Catalogue)</p> <p>Non-Commercial Repository</p> <p>Non-Commercial Website</p> <p>Journal Website</p> | <p>⑥Locations: Named Repository (PubMed Central, Research for Development Repository, ESRC Research Catalogue) Non-Commercial Repository Non-Commercial Website Journal Website →公開できる場所は特定のリポジトリ、非営利リポジトリ、非営利ウェブサイト、ジャーナルのWebサイト</p> |
| <p>⑦ Conditions</p> <p>Published source must be acknowledged with citation</p> | <p>⑦Conditions: Published source must be acknowledged with citation →公開された情報源は、引用によって明示する必要がある</p> |

ここで悩んだ！ Open Policy Finderの見方(4)

→ではひとつ目の「Accepted」を見てみると...

☒ Accepted

Option with no embargo & CC BY-NC-ND licence

 Hide

Embargo
No embargo

Licence
CC BY-NC-ND

Locations
Author's Homepage
Named Repository (arXiv, RePEC)

Conditions
Must link to publisher version with DOI
Authors can share their accepted manuscript immediately by updating a preprint in arXiv or RePEc with the accepted manuscript

「Locations」に機関リポジトリがない
=このオプションでは公開不可

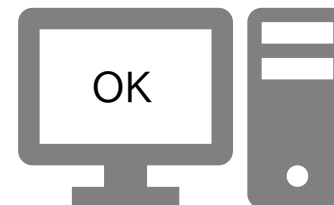
ここで悩んだ！ Open Policy Finderの見方(5)

→ふたつ目の「Accepted」に「Institutional Repository」がある！

The screenshot shows the 'Accepted' status with a blue checkmark icon. Below it, the text 'Option with 24 months embargo & CC BY-NC-ND licence' is displayed. A 'Hide' button with a circular arrow icon is visible. The main content area is divided into sections: 'Embargo' (24 months), 'Licence' (CC BY-NC-ND), 'Locations' (Institutional Repository, Subject Repository), and 'Conditions' (Must link to publisher version with DOI). The 'Locations' section is highlighted with a green oval, and a green arrow points from the text 'Institutional Repository' in the green box to this oval.

「Locations」に「Institutional Repository」
＝機関リポジトリで公開可

他には...
「Non-Commercial Repository」
「Non-Commercial Website」
「Any Website」
であれば機関リポジトリで公開OK



機関リポジトリで公開可能

- ・エンバーゴ: 24カ月
- ・ライセンス: CC BY-NC-ND
- ・条件: 出版社版のDOIをリンクさせること



メタデータにそれぞれ記載

発行元への問い合わせ(日本語)

件名:刊行物の著作権について(九州大学附属図書館)

〇〇学会 御中

突然のご連絡失礼いたします。

九州大学附属図書館リポジトリ系の●●と申します。
貴会の刊行物の著作権についてお尋ねしたく、ご連絡差し上げました。

九州大学では、学術・教育・産業の活性化に貢献することを目的として、
本学に所属する研究者の著作物を収集し「九州大学学術情報リポジトリ」に登録すべく活動を行っております。
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/collections/qir>

このたび、本学●●研究院の●●教授より下記の論文について、機関リポジトリで公開したいとの申し出がございました。

掲載誌:
論文タイトル:
巻号、ページ:
発行時期:

当リポジトリは、登録された文献をインターネット上で公開するものですが、上記文献を公開することに問題はございません
でしょうか。
公開にあたりましては出典を明示致します。

ご多忙の折大変恐縮ですが、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

発行元への問い合わせ(英語)

Sub: Inquiry about your copyright policy (Kyushu University)

Dear Sir or Madam,

Hello.

I'm ●● in the Digital Repository Section, Kyushu University Library in Japan.

I'd like to ask about the copyright of a book.

We are collecting research outputs of our faculty members and digitizing it.

Kyushu University Institutional Repository

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/en/collections/qir>

We received a request to deposit the following paper in repository from the author.

Title: ～～

Author: ●●

<https://doi.org/～～>

We will ask about the copyright policy of this magazine, and how to get permission to publish it into our repository.

If you are not the person in charge, please forward this mail to them.

Best Regards,

●●

裏ワザ：他機関リポジトリへの問い合わせ

CiNii Researchの検索画面

検索画面のスクリーンショット。検索条件入力欄とデータソース選択欄が示されています。

検索条件入力欄:

- タイトル: []
- 人物/団体名: []
- 所属機関: []
- ISSN: 0899-8256
- DOI: []
- 期間: YYYY(MM) ~ YYYY(MM)

本文リンク: ☒ 本文リンクあり

データソース:

| | | | | |
|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> JaLC | <input type="checkbox"/> IRDB | <input type="checkbox"/> Crossref | <input type="checkbox"/> DataCite | <input type="checkbox"/> NDLサーチ |
| <input type="checkbox"/> NDLデジタル (旧NII-ELS) | <input type="checkbox"/> RUDA | <input type="checkbox"/> JDCat | <input type="checkbox"/> NINJAL | <input type="checkbox"/> CiNii Articles |
| <input type="checkbox"/> CiNii Books | <input type="checkbox"/> NACSIS-CAT/ILL | <input type="checkbox"/> DBpedia | <input type="checkbox"/> KAKEN | <input type="checkbox"/> Integbio |
| <input type="checkbox"/> PubMed | <input type="checkbox"/> LSDB Archive | <input type="checkbox"/> 極地研ADS | <input type="checkbox"/> 極地研学術DB | <input type="checkbox"/> OpenAIRE |
| <input type="checkbox"/> 公共データカタログ | | | | |

検索結果のタブ: すべて (1), 研究データ (0), 論文 (1), 本 (0), 博士論文 (0), プロジェクト (0)

検索結果のスクリーンショット。検索結果のリストから「機関リポジトリ (HANDLE)」をクリックするよう指示されています。

検索結果:

- ☐ **The in-group egalitarian Owen values**
阿部, 貴晃, 中田, 里志 Games and Economic Behavior 142 1-16, 2023-11
...We also show that various monotonicity properties generate various allocation rules, where the Owen value

検索結果のボタン: DOI, 機関リポジトリ (HANDLE), Web Site

検索結果の統計: ほか2件, 被引用文献1件, 参考文献39件

Click!

【絞込み例】

- ・ISSN: 該当のジャーナルを入力
- ・本文リンク: ありにチェック

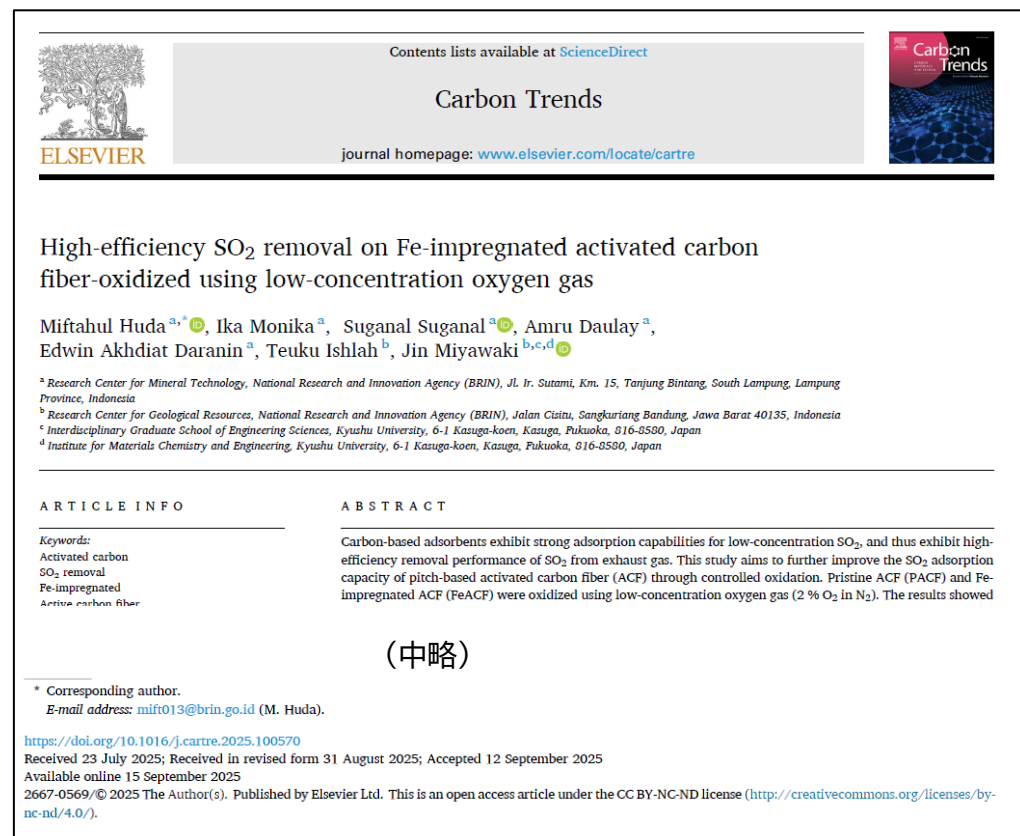


検索結果から
「機関リポジトリ」をクリック
(※似たケースを探す)

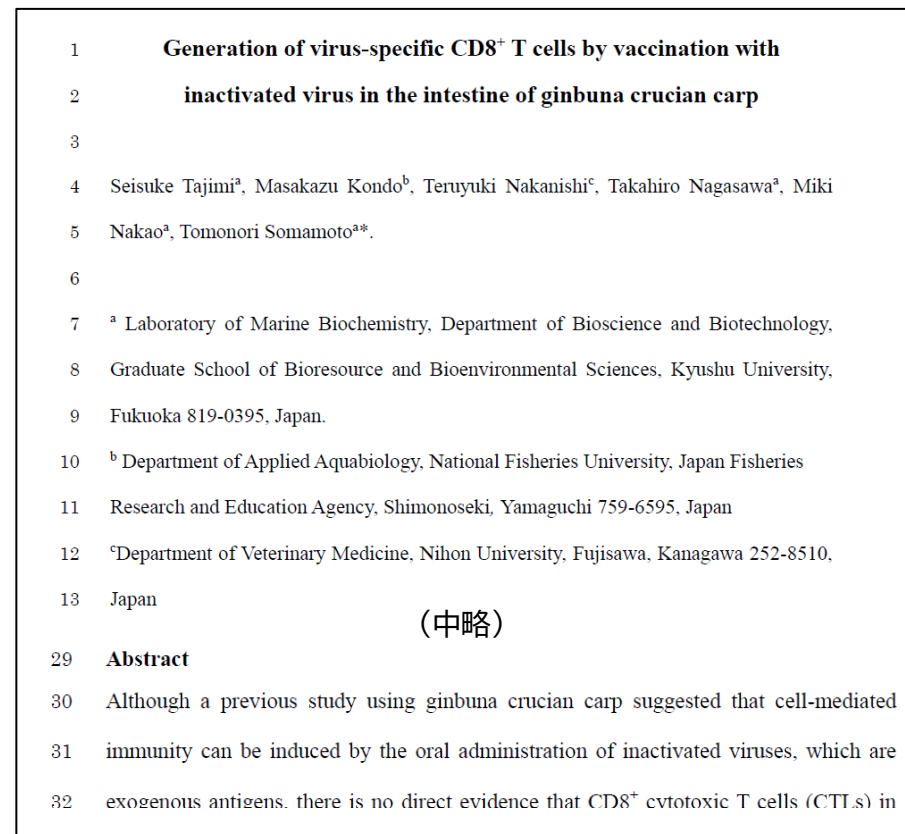
著作権調査開始！

➤ 確認内容2

■ 提供されたファイルはどっち？



OR



ここで悩んだ！ バージョンの見分け方と呼称

JPCOARスキーマガイドライン
「出版タイプ」より抜粋

<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/schema/2.0/17>

■ 提供されたファイルはどのバージョン？

VoR？ AM？ AO？

– VoR=Version of Record(**出版社版**。早期公開を含む。)

他) 出版版、Published journal article、Final published versionなど

– AM=Accepted Manuscript(出版雑誌の一論文として受付されたもの。
内容とレイアウトは出版社の投稿様式に沿ったもの。)

他) **著者最終稿**、受理原稿、Accepted version、Author final versionなど

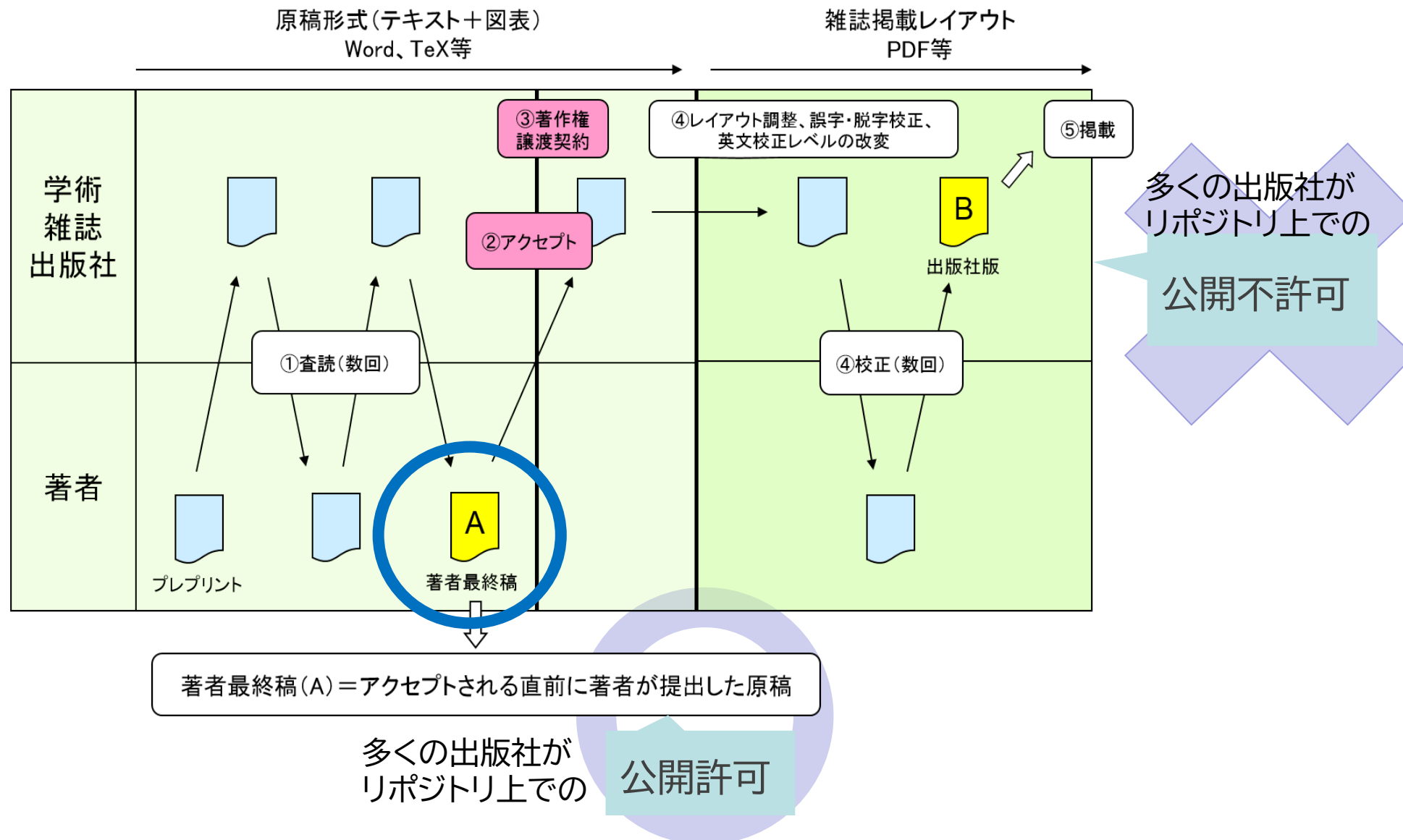
– AO=Author's Original(十分な品質であるとして、著者から正式な査読に
提出される版。)

他) プレプリント、投稿原稿、Submitted manuscript、Author's draftなど

※即時OAの対象は、査読付き学術論文(電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文(著者最終稿を含む))及び根拠データであり、プレプリントは対象とはならない。

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針、及び学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策に関するFAQ(内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局、2024年10月8日更新)https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_faq.pdf

著作権の譲渡と著者最終稿




著作権調査まとめ

QIR上での本文ファイルの公開可否・公開条件を確認

➤ 確認内容

- 公開可否
→ 公開できる場合
- 公開可能なファイルのバージョン
- 公開可能な時期（例：「出版日から1年後」）
- その他公開に必要な条件（例：出典の明示、許諾申請書の提出）

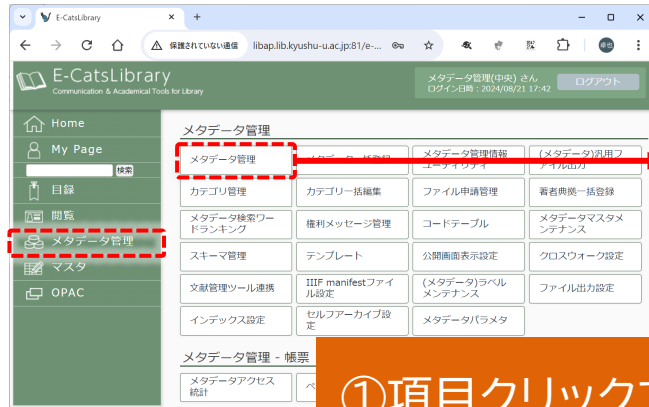


このような公開禁止期間を「エンバゴ」と呼びます。

➤ 確認方法

- 出版社のポリシーを各Webサイト上で確認する
 - ✓ 各出版社・雑誌のポリシーをまとめたデータベースも参照
- 出版社に問い合わせフォームやメールで問合せる
 - ✓ 【裏ワザ】他機関リポジトリに聞いてみるのもあり！

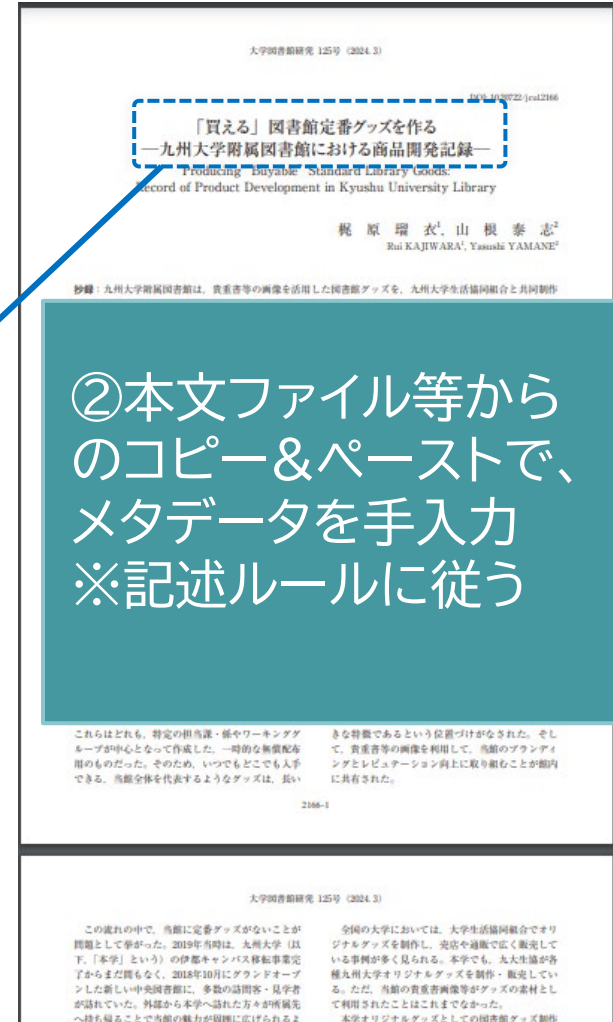
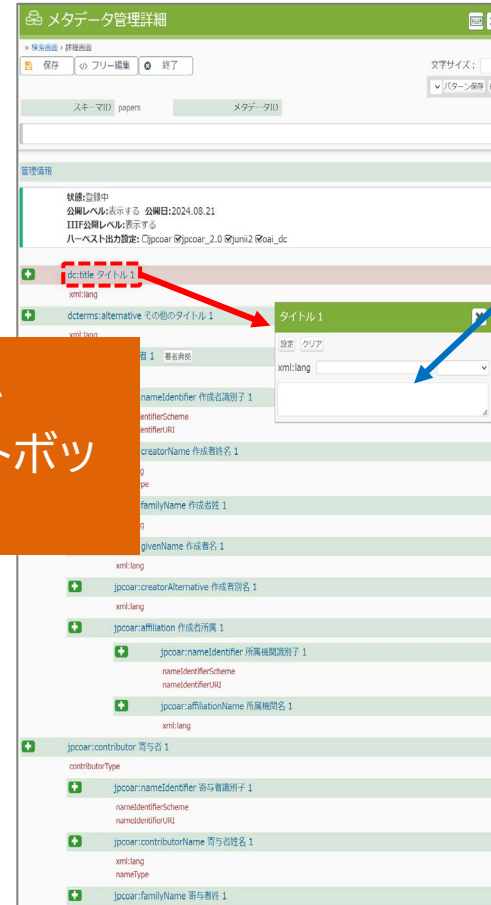
メタデータ入力(E-CatsLibrary)



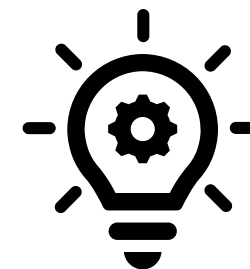
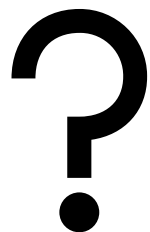
①項目クリックで
編集用のテキストボ
ックスを開く

入力項目

- ✓ 論文タイトル
- ✓ 著者名
- ✓ 出版日
- ✓ 収録誌名
- ✓ 収録巻号
- ✓ 収録ページ
- ✓ 助成情報 etc.



みんな同じところで悩んでいる！

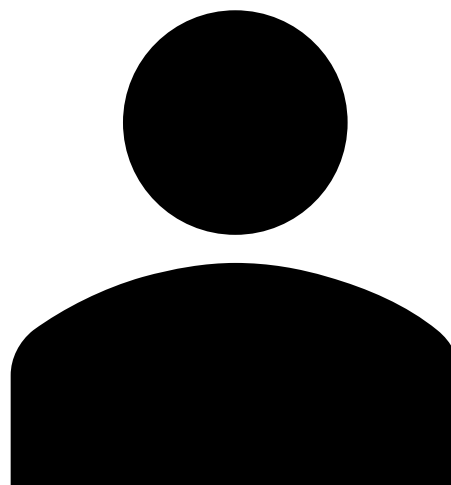


著作権ってどう調べればいいの？

機関リポジトリに登録してよい論文って？

相談する人がいない...

そもそも入力の方法がわからない！



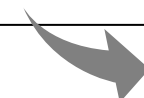
データベースを活用

自身で著作権が判断できない場合、
発行元に問い合わせよう！

ファイルのバージョンがわからない時は、
研究者や発行元に聞く

自信がないときは、公開したものを研究者
や研究者に確認してもらう

別の機関リポジトリ担当者に聞いてみる！



私で良ければお気軽にどうぞ！

九大図書館での取組み

【オープンアクセスPRロゴ】

OAをPRするキャッチフレーズ「NO OPEN ACCESS, NO SCIENCE」

クリエイティブ・コモンズのパブリック・ドメインツール『CC0 1.0』でPRロゴを配布中

※改変利用も含め、クレジット表記なく自由に使用可



<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/oalogo>

〈使用例〉

・トートバッグ



・バナー



PRロゴ①



PRロゴ②



PRロゴ③



PRロゴ④



PRロゴ⑤

ご清聴いただきありがとうございます。